

令和5年 10月1日発行

令和5年

10

October

No.593



広報

たらま

TARAMA VILLAGE PUBLICITY PAPERS



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、39番目の
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。

国指定重要無形民族文化財

「多良間島の八月踊り」 4年振りに開催



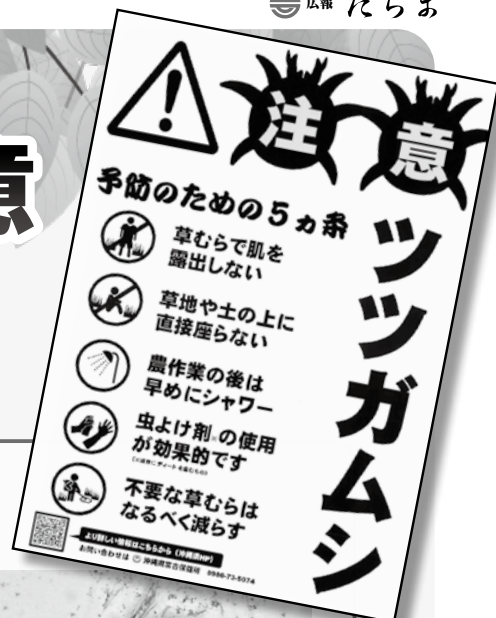
撮影 来間玄次



つつが虫病に注意

ツツガムシは、草むらにいます！

被害は、初夏(5~6月)と秋(10~12月)に多い
草刈り、農作業、釣りのときに刺されることが多い



予防

ツツガムシにくっつかれないように、
草むら(畑・海岸)に入るときは

- ① 長袖、長ズボン、手袋、長靴を着用する
- ② 虫除け剤※を使う(※成分にディートを含むもの)
- ③ 草むらで座らない(座る場合は敷物を使う)
- ④ 草むらで脱いだ衣服を放置しない
- ⑤ 入った後はすぐに必ず入浴(シャワー)する
- ⑥ 衣服を使い回さずに、その日で洗濯する
- ⑦ ツツガムシのすみかとなる不要な草むらを減らす

- ・とても小さなダニで、肉眼ではほぼ見えない
- ・初夏や秋に草むらに出てくる幼虫だけが刺す
- ・刺されてもかゆみ・痛みはない



沖縄県衛生環境研究所撮影

早期発見・早期診断

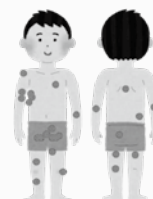
症状:刺されてから5~14日後に症状出現

- ・38~40度の高熱
- ・全身性の発しん
- ・体のどこかに刺し口(1~2ヶ所)

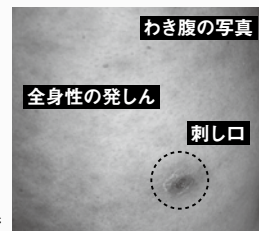


刺し口の特徴

かさぶた、周囲に赤み(1cm前後の大きさ)



これまでに刺し口があった場所



※つつが虫病は適切な治療で治りますが、遅れると重症になることもあります。

※つつが虫病に、一度ならず、またかかる人もいます。

「熱が長引く」「草地に入った」「体に赤い発しん」「刺し口!?!」
→早めに医療機関を受診しましょう。

Q 宮古保健所 つつが虫病について 検索

お問い合わせは 沖縄県宮古保健所 ☎73-5074



年金相談会開催します！

平良年金事務所が来島し、下記の日程で年金相談会を開催します。

？これまでの年金加入記録や納付状況が知りたい

？将来もらえる年金額はいくらだろう？

？年金の通知が届いているが、内容を詳しく教えて欲しい。

など、なんでもご相談下さい。お電話にて予約受付をしますので平良年金事務所(0980-72-3650ガイダンス①→②)または住民福祉課(79-2623)までご連絡下さい。



- 日時：令和5年11月8日(水) 11時～17時まで
- 場所：多良間村役場 1階会議室

配偶者・恋人からの暴力に 悩んでいませんか？

DVかなと思ったら、まずは電話してください。
親族や友人による相談も可。

宮古配偶者暴力相談支援センター
沖縄県宮古福祉事務所

DV専用
ダイヤル ☎0980-72-3132

平日8:30～17:15 ※12時～13時を除く
来所相談の際は事前に電話予約がおすすめです

《その他の相談窓口》

土日祝日・夜間も相談ができる窓口

☆沖縄県女性相談所(DVなど) ☎098-854-1172
(夜間専用:098-854-1173)

☆宮古島警察署 生活安全課 ☎0980-72-0110

※危険が迫っている時は、迷わず警察へ(110番)

宮古島の相談窓口

☆宮古島市女性相談室 ☎0980-73-1947
平日午前8時半から午後5時 ※12時から13時を除く

児童虐待に関する相談

☆沖縄県中央児童相談所宮古分室 ☎0980-75-6505
平日午前8時半から午後5時15分 ※12時から13時を除く

多良間村識見監査委員 辞令交付式

本村恵和さんの任期満了に伴い、令和5年第3回多良間村議会定例会で同意を得て、本村雅則さんが多良間村識見監査委員に任命された。任期は4年間。



伊良皆村長から辞令を受ける
本村雅則さん



左より3番目から本村雅則さん、
本村恵和さん、垣花幸徳さん

第56回多良間村陸上競技大会

日時：8月20日(日) 場所：多良間村中学校グラウンド



選手代表宣誓 美里雫さん、清村仁愛さん

「宣誓、われわれ選手一同は、このすがすがしい青空のもと、全力を出し切ることを誓います。また、先日、マスターズチャンピオンの譜久里さんのご指導を受けた小中学生のマスターズの新記録もご期待ください！」



トラック競技

TRACK



一般男子 4×400MR



一般女子 4×100MR



小学男子 800M



小学生 4×100MR



フィールド競技

FIELD



やり投げ 高江洲舞香さん



円盤投 大浜佑太さん



走高跳 美里霞さん



走幅跳 宮國安璃さん



砲丸投 本村健次さん



新記録樹立!

小学女子400M
松川莉緒(土原)
1分14秒7(前記録:1分15秒4)

応援の声は、
選手に届き、
力となる



表彰状授与 1位から3位まで同時に賞状を受け取った

2023年 漁業センサスにご協力をお願いします



農林水産省は、令和5年11月1日現在(流通加工調査は令和6年1月1日現在)で「2023年漁業センサス」を実施します。

「漁業センサス」は、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握することを目的に、統計法に基づいて5年ごとに行う大規模な調査です。

10月下旬から調査員が漁業関係者の方々を訪問しますので、調査票に漁業の操業

状況などの記入をお願いします。

なお、スマートフォン等を利用したオンラインでの回答も可能です。

回答内容は、統計を作成するためだけに使われます。統計調査員や調査関係者が、調査内容を他に漏らしたり、課税等その他の目的に使用することは法律で厳しく禁じられています。

「漁業センサス」は、漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。ご協力をお願いします。

令和5年度 敬老会

9月15日(金)、令和5年度多良間村敬老会がコミュニティ施設1階大ホールでおこなわれ、262名の敬老の皆さんの長寿と健康を祝った。数え100歳になった本村ヨシさん(キナヤー)に表彰状と金一封が手渡され、長年にわたり村のために貢献していただいた感謝と長寿を祝った。

また、今年は22名が70歳を迎えて敬老の仲間入りをした。新敬老を代表して運天宏和さんは「人生は70歳からということ、100歳を迎えられた本村さんをおみかけして思っております。1日1日大事にしながらこれからの人生を送っていきなと思っております。」と述べた。

式典後には祝賀会がおこなわれ、保育所や幼稚園の園児、老人クラブ連合会、婦人会、青年会の余興も披露され、敬老者達を楽しませていた。



表彰された本村ヨシさん(中央)



新敬老の皆さん



手づくり横断幕を持ちあいさつする幼稚園の皆さん



写真で見る



「多良間島の八月踊り」

仲筋字

「4年振りに郷友や観光客も訪れ賑わう」

琉球王朝時代から脈々と継承されてきた多良間島の八月踊りが4年振りに開催された。久しぶりの開催とあって島外からも郷友や観光客が訪れ賑わいをみせた。これまでに中学生は若衆踊り、女踊りなどを十五の春で巣立つまで演じ後輩に繋いできた。今年は4年振りとなつて、皆新人であった。一方、組踊りなどの配役は、Uターンの若者達も増え新人が両字併せて十数人と、師匠や関係者を喜ばせた。4年振りを感ぜさせない熱演に会場からは温かい拍手が送られた。また、両字二組の組踊りの先組で初めての字幕が映し出され「台詞、内容が理解できる」と好評であった。「来年は後組も字幕付きであったら上等だ」との声も聞かれた。

ここでは3日間にわたる八月踊りの写真を裏表紙も含めカラーでご紹介する。

(来間)



▲福禄寿



朝7時、両字からブンヤー(旧番所)役場に酒、カマボコ、揚げ豆腐、揚げ魚等が捧げられた。豊作に感謝し、豊年を祈願する伊良皆光夫村長。琉球王朝時代から続けられている



ての字幕入り上演親と宝剣「治金丸」



▲若衆踊り



▲笑いを誘う狂言「りんき」は仲筋の定番



▲座を清める獅子舞からはじまる



▲仲宗根豊見親の出羽



▲豊見親一行の登場(左)で身構え立ち上がる鬼虎勢



▲荒々しい与那国島鬼虎の出羽



▲仲筋字組座。舞台裏は着付けで忙しい



に会場内から拍手を送る



◆紹介
「おおがま」を見事に演じた今年四月採用の総務財政課の広報担当、大城菜美主事補です。カメラをぶら下げ取材頑張っておりますので取材の際にはご協力お願いします。



▲村原組「大川敵討」の乙樽と谷茶の一場面



▲会場全景。狂言座のラストシーンでハンカチ?を振って来年へつなく



▲ヨーンシー



▲お酒、塩をウシャギテ。塩川字の獅子

塩川字



▲朝の総引きの出番を待つ出演者



▲女踊り



▲着付け



▲一番組で初め
仲宗根豊見



▲津堅島から酔って城に戻る多田名大主一行



▲忠臣身替。亀千代と母、弟金松と乙鶴



▲「忠臣身替」八重瀬大主出羽



▲夜の総引きを終え、神前に祈願



▲塩川の定番、狂言「少女誘拐事件」



▲鬼気迫った演技

多良間村少年海外奨学生派遣事業 報告会

9月13日(水)、コミュニティー施設1階ホールにおいて令和5年度多良間村少年海外奨学生派遣事業の体験報告会が行われた。アメリカ合衆国のカリフォルニア州サンタマリアにホームステイした中学校3年生の清村仁愛さん、諸見里美柚さん、糸洲朝輝さん、知念夏海さん、佐和田ひまりさん、美里雫さんの6名が、学んだことや感じたことをスライドショーを用いて報告した。

中学校の垣花正人校長先生は、「今回の体験を通して学んだことを、自分の生き方に生かしてほしい。」と述べた。



修了証を手に記念撮影



報告会の様子



登校時の様子を再現する生徒

シネマ組踊「孝行の巻」上映会

8月22日(火)、コミュニティー施設においてシネマ組踊「孝行の巻」(協力:多良間村教育委員会、助成:おきぎんふるさと振興基金)が上映された。「シネマ組踊」は約300年間受け継がれる組踊を新しい切り口で映像化するプロジェクト。組踊の様式美や舞台ではみられない役者の繊細な表情、緊迫感あふれる演奏者の音楽、流麗なセリフ回しなど、組踊の魅力をあますところなく映像で捉えた。この映像には高江洲一平さんも出演している。本編前の組踊の歴史や特徴などの解説に加えて、わかりやすい字幕もあり、初めて見る人も伝統芸能の世界を堪能できるようになっていた。



上映の様子

「確かな未来」が会社を変える。

中退共 CHU-TAI-KYO で退職金。

「中退共」は中小企業のための国の退職金制度です。

① 国の退職金制度!

掛金の一部を国が助成します。

② 外部積立型でラクラク管理!

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク!

節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんもご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等との資産移換も可能です。

詳しくは
ホームページをご覧ください

中退共 **検索**

あっきーの協力隊日記

こんにちは、観光振興課・地域おこし協力隊のあっきーです。

ここ最近、たらま島一周マラソンやピンダース大会の準備など、八月踊りが終わった後も何かと忙しい観光振興課です。特にマラソンの準備などは初めてのことも多く大変ですが…楽しみにされている皆様のためにも頑張ります！

今回は、多良間島の知名度についてのお話です。

赴任時、羽田空港で係員の方に「多良間？沖縄ですか？」という反応を頂き戸惑ったという経験は以前もこちらにてお話をさせて頂いた通りですが…。

コロナ禍の中での着任ということで、協力隊の研修などは必然的にオンラインが多くなっていたのですが、その分全国の様々な地域の協力隊仲間と繋がる事が出来ました。研修の際に必ず「着任している地域」を名乗るのですが、私が「沖縄県多良間村です。多良間島という離島です」という自己紹介をすると、大半の方が、その場でパソコンやスマホでウイキペディアを検索して多良間のことを調べてくださって

ました(笑)。

そして「ああ！宮古島なら行ったことありますよ！フェリーあるんですね！」「ヤギちゃん可愛いですね」「たらびん、ってなんですか？」等々の反応を頂き、そのたびに嬉々として島の説明をする自分が少し誇らしかったりもします。

前職やダイビングの友人たちも当初は「ケラマ」と「タラマ」の区別がついていなかったようですが(笑)、今では「あっきーが多良間に行かなかったら、こんなに沖縄の離島に興味を持つこともなかったよ」と言ってくれるようになりました。実際に遊びに来てくれた友人もあり、私が多良間の知名度アップに少しでも貢献できているのであれば、とても嬉しく思います。

たらま島一周マラソンを楽しむにされている島外の方もたくさんいらっしゃいます！全力をあげて皆様をおもてなしいたいと考えています♪



水道のはなし

第21回 令和5年10月号

水道担当 清村

今回は、『水道広域化』と『広域連携』についてお話しします。少し難しいところもありますが、お付き合い下さい。

現在、国では、都道府県に対して『水道広域化』を推し進めるよう通知しています。今後の人口減少や、施設更新需要の拡大などにより、補助金等の財源不足が懸念されるためです。出来れば、都道府県それぞれ一つの水道事業体にするよう求めています。

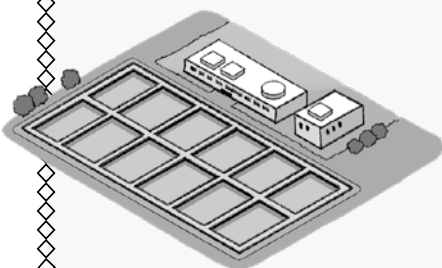
それを受けて、沖縄県内でも、一部広域化が進んでいます。沖縄本島周辺離島(座間味村、渡嘉敷村、渡名喜村、粟国村、南大東村、北大東村、伊

是名村、伊平屋村)は、令和7年度までに広域化が完了します。

それによって、各島々の浄水処理施設は、県企業局の管轄となり、自治体は『企業局が作った水を購入(受水)して販売する』こととなります。

多良間村でも、現在広域化参入を要望していますが、具体的に、まだ決まっていません。

(次号へつづく)



令和5年10月

村長の たうけー むぬゆむ

ひとりごと



多良間島最大の祭りである、今年の「八月踊り」は新暦9月22日から24日までの3日間盛大に行われた。新型コロナウイルスの影響で3年間は神事のみ行われ、奉納踊りは4年振りに行われた。

踊り期間までは、雨がぶー雨に恵まれさとうきびの植え付けも順調に進められ、気持ちも晴れ晴れとした、喜びいっぱいなのなかの踊りであった。踊り期間中は、天気にも恵まれ宮古島からは、フェリーもたらま皿が日帰り運航した。沖縄本島、本土、宮古島から多くの観客で賑わった。

仲筋「正日」「わかれ」とも午前10時から午後9時まで、舞台は途切れることなく、延々と約11時間繰

り広げられた。塩川「正日」「わかれ」には一段と来島者が増え賑やかな舞台となった。

これだけの長時間にわたる舞台組織運営がされ、脈々と継承されているのは「獅子座」「端踊座」「笠座」「狂言座」「組座」「地謡座」「支度座」「幹事座」にわかれそれぞれ役割分担がされているからである。役割分担による責任感で何百年間も継承されてきた。先人達がこのような素晴らしいシステムを確率されたアイディアと実行力には、驚嘆し感謝するばかりだ。

多良間の八月踊りの所作には大きな特徴がある。その一つが、「多良間様」と言われる歩き方。つま先を折り曲げて踵を直角にたて

る。それを左右繰り返して進む。多良間にしかない踊りの歩き方である。約55年前、この歩き方を改めたほうが良い、という意見があった。村出身の小学校の校長先生であった。しかし、島の長老をはじめ改めることに反対し、昔からのままでずっと継承してきた。大変、大きな決断だったと思う。

仲筋、塩川の組踊りに謡われる曲で「干瀬節」がある。干瀬は多良間でいう、海の「びし」である。原歌は「干瀬にいる鳥や満潮うらみゆい我身や暁の鳥どう恨む(意味：干瀬にいる鳥は満潮をうらみ、私は暁の鳥が鳴いて、あなたが帰ること(うらむ)という恋歌。悲哀の調子をおび、ものの哀れを感じさせる。

仲筋「忠臣仲宗根豊見親組」では、おがまくい(がまが金盛豊見親の屋敷へ急ぐ道行き)の歌として歌われる。歌詞：「一、今出る我身や砂川村あふかまこいかまとやゆる。大主の御急用てやり、御使のあとて、昇ていきむ 二、おちん向て見れば、大武ぬ続き、そのれ並松や、近寄や

いおももの「おがまくい(がまのセリフ)が曲にのせて歌われる。

塩川「多田名組」では、千代松の母と弟金松が山野をさまよっている所に、千代松が母と弟を探し訪ね、やっとでめぐり会う場の歌である。歌詞：「夢や又あらね、誠とむやは、有しこの間の、由緒聞す」母のセリフと同じ。(意味：夢ではないだろうか。まことであつたらこれまでこのことをくわしく聞かせてくれ)。

組踊りの創始者玉城朝薫が創作した組踊りの一つである「執心鐘入」には、歌詞を変えて三度歌われる。

何百年も継承されてきた「八月踊り」、コロナ感染症の影響で4年間のブランクがあり、練習の心配がされたが、両字、各座ともに一生懸命練習した成果が舞台に表れた。見事な踊りだった。さらに、組踊り一組ずつに字幕スローパーが表示され華を添え、時代の流れを感じさせた。島の宝である「八月踊り」がおうしやがなぎ(永遠に)続けられる事を願う。

11月15日は「いい遺言の日」です。

遺言書は、相続時の親族間の争いを避ける最も良い手段の一つです。ご家族の安心のためにも、終活の一つとして遺言書を作成してみませんか？

ご自分で書いた遺言書については、法務局が保管する「自筆証書遺言書保管制度」を利用されると紛失や改ざん等の心配がなく更に安心です。

法務局では、11月を利用促進強化月間と定めて、制度の紹介や保管申請の手続案内を行います(事前予約制)。この機会にぜひご利用ください。

お問合せ 那覇地方法務局 宮古島支局
☎ 0980-72-2639



遺言書ほかんガルー

世帯数と人口 (令和5年8月末現在)

総世帯数	536 (2)		
総人口	1,067 (0)		
男	581	女	486
区 別	人 口	世 帯 数	
土 原	65 (1)	36 (1)	
天 川	78 (0)	45 (1)	
津 川	90 (0)	45 (0)	
宮 良	71 (0)	32 (0)	
嶺 間	154 (0)	69 (0)	
大 道	182 (0)	95 (0)	
大 木	267 (-1)	123 (0)	
吉 川	156 (0)	88 (0)	
水 納	4 (0)	3 (0)	
出 生	0	死 亡	0
転 入	1	転 出	1

()内は前月比

緊急ダイヤル

火災・救急ワンクッションコール	119 番
警察官派出所	(79-2010) 110 番
急病人／多良間診療所	79-2101
停電／沖縄電力多良間電業所	79-2147
断水／役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病／役場産業経済課	79-2503
ガス専用／JA 多良間	090-6859-2355

8月 救急車・ヘリ搬送件数

救急車出動 …2件 ヘリ搬送 …2件

※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

ご寄付ありがとうございます

下地 進 様

八重瀬町

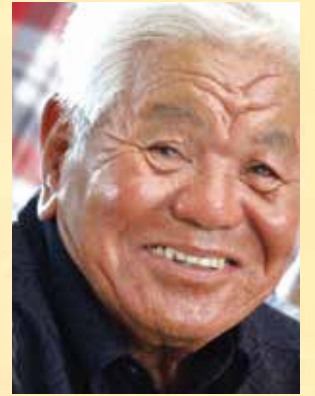
下地 一男 様

八重瀬町

編集後記

● 9月22日から24日までおこなわれた八月踊りでは、4年ぶりの開催ということもあり、大勢の村民・観光客の方で賑わいを見せていました。私は仲筋字の「組踊 忠臣仲宗根 豊見親組」の「オーガマ」をやらせていただきました。歩く姿こそ一番の踊りであり、見せ場であることを師匠である伊良皆村長からお教えいただき、それが観客の皆様が届いていたらいなと感じています。出演された方、役員の方、地域の方、八月踊りに関わった皆様お疲れ様でした。今回の踊りが多良間村の発展に繋がります。また来年も八月踊りをおとして村民の結束が強まるよう、願っています。

● 今月も広報誌へご協力頂いた皆様、ありがとうございます。(大城)



踊り手も観る人もひとつ、べー
たが「八月踊り」

